

好評の新ブランド墓石 「プペルメモリアル」

岡山県 鳴本石材(株)が卸販売

『えんとつ町のプペル』の
世界観をコンセプトに

お笑いコンビ・キングコングの西野亮廣さんが手掛けた絵本『えんとつ町のプペル』は累計発行部数69万部を超えるベストセラーとして知られている。

この『えんとつ町のプペル』の映画化作品が昨年12月に公開されたこと

「えんとつ町のプペル」の「親子の絆」というテーマは「故人との交流」でもあり、『えんとつ町のプペル』は供養業界とも深くつながるストーリーでもあるのだ。

「親子の絆」というテーマは「故人との交流」でもあり、『えんとつ町のプペル』は供養業界とも深くつながるストーリーでもあるのだ。

「親子の絆」というテーマは「故人との交流」でもあり、『えんとつ町のプペル』は供養業界とも深くつながるストーリーでもあるのだ。

洗練されたデザイン
独自の技術で製作

石材加工メーカー+卸
商社である鳴本石材株式
会社(鳴本太郎社長)は、
この『えんとつ町のプペル』の世界観をコンセプトにしたブランド墓石「プペルメモリアル」を開発し、今年1月より小売石材店に向けた卸販売をスタート。着実に納入実績も増えてきていると

「プペルメモリアル」を
開発し、今年1月より小
売石材店に向けた卸販売
をスタート。着実に納入
実績も増えてきていると

同社では「プペルメモリアル」シリーズの第1弾として、「フルムーン」というデザイン墓石を開発。この「フルムーン」は和風タイプと洋風タイプが用意されており、どちらも「えんとつ町のプペル」に登場した「満月」がモチーフになっている。「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような

「フルムーン」には同社が開発した皮のような



小売石材店における「フルムーン」の展示イメージ



販売特約店にはパンフレットや紹介動画など各種販促支援ツールが提供される



「フルムーン」の特殊ライン加工を施す鳴本石材株の高精度彫刻マシン(日本に2台しかないという)



鳴本石材(株)の工場にて

見本墓石は黒系石種を使用しているが、特に石種を限定しているわけではない。曲線の魅力となっている。曲線のラインはゆがみのない高精度曲線を実現しており、「技術力の訴求」という点においても高い効果が期待できるものだろう。

「販売特約店(取扱石材店)」を募集
他社との差別化・高付加価値化へ
この「フルムーン」を
取り扱う小売石材店には
他社との差別化・高付加
価値化などが期待される
ことだろう。

同製品を取り扱うためには「プペルメモリアル販売特約店」への登録が必要になる。加料金は5万円(税別)のほか、年会費は3万円(税別)が必要で、年会費にはパンフレット・動画などの販促支援ツール、「プペルメモリアル」特設サイト上での紹介などの特典も含まれている。

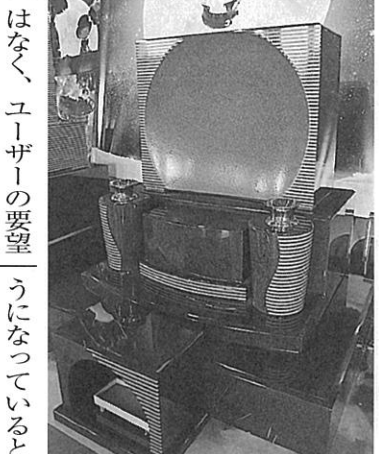
また、『えんとつ町のプペル』のストーリー・映画の内容などは「えんとつ町のプペル公式サイト」に掲載されているので、ぜひアクセスしてみてください。いかがでしょうか。「プペルメモリアル」に関するお問い合わせ詳しくは左記まで。



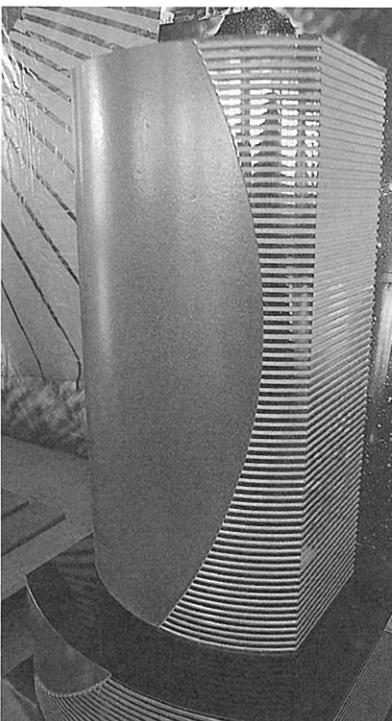
プペルの公式サイトへ繋がるQRコード

◆鳴本石材(株)岡山県笠岡市茂平2918-23
TEL 0865-66-1414
プペルメモリアル 検索

加工、日本に2台しかない同社工場の高精度彫刻マシンによる特殊なライン彫刻が施されており、満月のフォルムが表現されたモダンなデザインも大きな特徴。魅力となっている。曲線のラインはゆがみのない高精度曲線を実現しており、「技術力の訴求」という点においても高い効果が期待できるものだろう。



鳴本石材(株)が開発したレーザータッチ加工、高精度彫刻マシンによる特殊なライン加工なども「フルムーン」の大きな特徴となっている



あなたの人生にも、プペルを。

©Akihiro Nishino

POUPELE MEMORIAL
プペルメモリアル
フルムーン
FULLMOON

NARUMOTO 鳴本石材株式会社

笠岡営業所/0865-66-3066 関西営業所/078-987-1455

関東営業所/049-236-3451

プペルメモリアル 検索